



愛知県立千種聾学校  
校だより

本校版

「卒業・修了を祝して」

校長 荒木 紫野舞

本校幼稚部六名、小学部七名、ひがしうら校舎幼稚部七名のみなさん、修了、卒業、おめでとーございませう。

みなさんは、竹の中にある「節」を知っていますか。この節がなかったら、竹はどうなるでしょう。竹の中は空洞ばかりになり、簡単に折れてしまいます。もうひとつ特徴があり、節には、多くの成長するための細胞があるそうです。一つ一つの節で成長するため、竹はぐんぐんと大きくなるそうです。

修了、卒業は、人生の大きな節目となります。みなさんの中に、がんばってきたことやできるようになったこと、時につらかったことなどいろいろなことが詰まっていると思います。この機会に自分自身を振り返り、しっかりとした節目を作ってください。そして、嵐が来ても耐えられる自分を作ってください。また、その節目を、次に向かう成長点としてください。みなさんが、さらに大きく成長し、自分で選んだ道を自信をもって歩まれることを心より願って、応援しています。



「卒業・修了を祝して」

PTA会長

卒業生、修了生のみなさん、ご卒業・ご修了おめでとーございませう。保護者の皆様には、心よりお祝い申し上げます。

十二歳になった娘も、皆さんとこの学校を卒業します。十年間のお友達もいます。様々な行事はいつも楽しかったと言っています。学年が変わる度にその成長を見守ってくださった先生方もいます。

言葉をうまく発することができない娘に寄り添い、接していただき、感謝しかありません。ときに自分の声が言葉が届かず、苦しい思いをしたこともありました。それでもこれから始まる新しい生活を楽しみに前を向き、過ごしています。みなさんの未来が穏やかな、光り輝く未来でありますよう、心から願っています。

保護者の皆様には、日頃からPTA活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

「幼稚部修了を祝して」

幼稚部主事 福永 鮎美

年長さんとしてスタートした四月は、三、四歳さんを誘う姿にどことなくぎこちなさがありました。今では頼もしい姿で、三、四歳さんを引っ張ってくれています。行事では、係を立派にやり遂げ、日々の活動では、自分の目標に向かって頑張ってチャレンジする姿はとても立派でした。

四月からは小学一年生。新しい生活に期待感をもって、いろいろなことに笑顔でチャレンジしてください。幼稚部の皆で応援しています。

「小学部卒業を祝して」

小学部主事 山木 浩子

皆さんの小学部六年間は、コロナの感染予防、学年の友達の転校など、様々な変化がありました。戸惑うことも多くあったことでしょう。それでも、今それぞれが前を見て自分の足で前進していこうとする十二歳の一人の人間に成長してくれました。頑張り続けてくれて、ありがとう。千種聾学校の卒業生として、胸を張って進んでいってください。これからも後継者に続く後輩たちの良き手本になってくれることを期待しています。

「幼稚部修了にあたって」

五歳児 保護者

娘の聴力は人工内耳装用でもとても厳しく、幼稚部での生活に不安を抱いての始まりでした。娘とのやりとりの手段、日々の関わり方等、悩んだ時にはその都度担任の先生に相談に乗ってもらい、娘の成長を見守っていただきました。幼稚部での三年間は、私達家族にとってもとても有意義で、親子で一緒に成長できた宝物のひと時となりました。お世話になりました。先生方、本当に、ありがとうございます。

「小学部卒業にあたって」

六年生 保護者

千種聾学校では、教育相談のころから、十年近くお世話になりました。毎日の送迎や子どもが学校に行きたがらない時もあり、何度も心が折れそうになることもありましたが、先生方や職員の皆様を支えられながら、何とかやってこられました。本当にありがとうございます。皆様の益々のご活躍を、そして、栄ある千種聾学校の更なる発展をお祈り申し上げます。

# 5さい おおきくなったら…



ラーメンや



しょうぼうし



ネイルや



ケーキや



まま



かんがえちゅう

## 🎉🎉🎉 心に残る思い出 (6年生) 🎉🎉🎉



赤組の応援団長として頑張った交流運動会で優勝して  
ずっしり重い優勝旗をもらった時は、最高の気分でした。

修学旅行で初めてアーチェリーをしました。矢が勢いよく  
飛んで的に当たったときは、とても気持ちよかったです。

「修学旅行記」を発表した  
学習発表会では緊張した  
けど、みんなと気持ちを合  
わせて、素晴らしい発表が  
できてうれしかったです。

修学旅行や宿泊学習の  
中でみんなと遊んだのが  
いい思い出で心に残って  
います。

しゅうがくりょこうでひつじ  
をさわりました。  
ふわふわしていて気持ち  
よかったです。

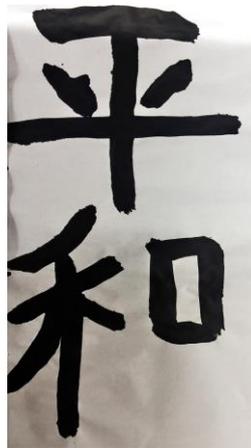
うんどうかいの「たいふうの目」で、がんばって走りました。  
友だちと走って、楽しかったです。

20分ほかにボールをつけてあそびました。  
100回いじょうできるようになりました。うれしいです。

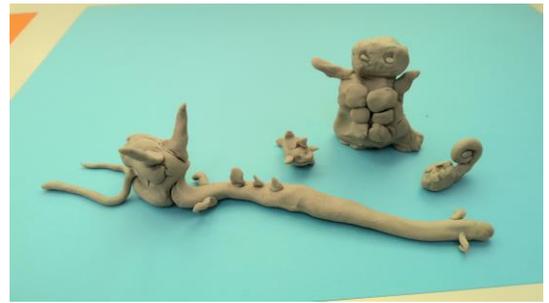




「たこと うみ」  
2年生児童



四年生児童



「いっしょに おさんぽ」  
1年生児童

「笑顔いっぱい」の六年生へ」

五年生児童

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんは、毎日とても元気で、私達にとって太陽のような存在でした。みなさんのおかげで、私達はいつも明るく楽しい学校生活を送ることができました。ありがとうございました。

運動会では、競技に負けて悔しい時、「ドンマイ!」「がんばったね」と声をかけてくださいました。そのおかげで、次の競技へ気持ち切り替えることができました。他にも、修学旅行で二日間ずっと一緒に行動してたくさん笑ったこと、宿泊学習で試行錯誤しながらテントを立てる練習をしたことなど、思い出がたくさんあります。四月からは中学生ですね。中学校では勉強が難しくなったり、部活動が始まったりして、大変なことがたくさんあると思いますが、みなさんの持ち前の明るさで乗り越えていってください。またいつか会いましょう!



「おにをやっつけたよ」  
4歳児



中学年「ミニマラソン大会」

◇ 令和六年度表彰 ◇

本校

第十九回全国聾学校作文コンクール

〈金賞〉 四年生児童 一名

〈銀賞〉 四年生児童 一名

第三十回全国聾学校絵画展

〈佳作〉 六年生児童 一名

第五十九回名古屋古屋市障害者作品展

〈東海テレビ賞〉

三年生児童 一名

〈佳作〉 四年生児童 一名

第六十五回CBC小学校作文コンクール

〈佳作〉 四年生児童 一名

CBCこども絵画展2024

〈入選〉 一年生児童 三名

二年生児童 二名

三年生児童 二名

ひがしうら

第七十回青少年愛知県読書感想文コンクール

〈愛知県教育委員会賞〉

五年生児童 一名



愛知県立千種聾学校  
学校だより  
ひがしうら版

「幼稚部修了を祝して」

幼稚部主事 平澤 由紀子

五歳児七名の皆さん、修了おめでとうございます。東浦に新しい校舎ができて、新しい仲間が増えて、新しい経験とできることがたくさん増えましたね。年長さんになって、ぐっと落ち着き、頼もしい顔になったなあと思います。四月からは、ピカピカの一年生。頑張る皆さんをずっと応援しています。

お子様の成長を温かく見守っていただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。共に学び、育ち合う仲間を得て、これからはばたくお子様のさらなる成長を心よりお祈り申し上げます。

「人は人によって人になる」

小学部主事 檜垣 栄慈

四月からのInstagram投稿が、百三十件を超えました。どの写真も子どもたちが生き生きとしています。活動意欲を高めるためには、「有能感」(称赞)、「自己決定感」(選択決定)、「交流感」(周囲との関わり)の手立てを連動させることが大切だと言われています。その中でも「交流感」が重要です。子どもたちが意欲的に活動できたのは、友達や教師、保護者の皆様、地域の友達や関係者と関わり合いながら学ぶことができたからだと思います。子どもたちに関わってくれた方々に感謝申し上げます。

「幼稚部修了にあたって」

五歳児 保護者

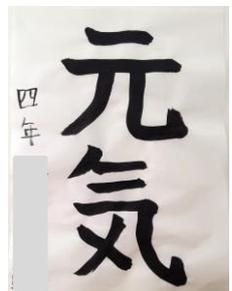
とても充実した二年間でした。気が付いたら平仮名も片仮名も読めるようになり、絵を描くことも上手になって、絵日記を全部自分でかいてしまうこともしばしばです。驚くと同時に、寂しく思うこともあります。もう一人でできることがそんなに増えたんだと思います。先生方も友達も大好きで、休みの日でも学校に行きたいと言っています。毎日学校での出来事をいっぱい話してくれて、楽しそうだなと感じています。これらの成長も楽しみです。桜が咲く頃には小学部に上がりますが、これからもよろしくお願いいたします。



幼稚部「おみせやさんごっこ」



小学部「スポーツ大会」(児童会企画)



三年生児童

四年生児童